

# みるとす

## No.185

駿東学園  
ニュース

〒410-1322

静岡県駿東郡小山町吉久保1050

☎ 0550-76-3808

FAX 0550-76-4663

http://www.mirutosu.or.jp/

e-mail:suntou@mirutosu.or.jp

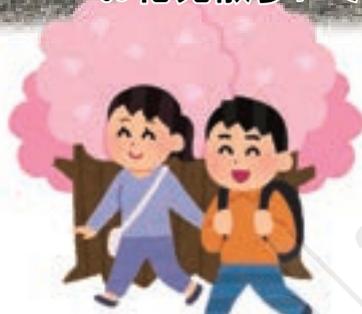
2022. 5. 31



お花見散歩にて



満開の桜の前で(4.6)



## 目次

- ★「新年度にあたり、中期行動計画」  
園長 高木徳雄 (2)
- ★棟だより  
・あんず男子棟  
「名は体を表す」……………金子健嗣 (3)
- ・あんず女子棟  
「あんず女子棟職員紹介」……………寺内千尋 (3)
- ・くるみ男子棟  
「くるみ男子棟職員紹介」……………齋藤太郎 (4)
- ・くるみ女子棟  
「よろしくお願ひ致します」……………中嶋七恵 (4)
- ★クララ寮だより  
「クララだより」……………江藤信一 (5)
- ★こでまり近況報告  
「こでまり近況」……………湯山大樹 (5)
- ★午後の活動  
「午後の活動紹介」……………金子健嗣 (6)
- ★新職員紹介  
「よろしくお願ひ致します」……………井上久美 (7)
- 「よろしくお願ひ致します」……………濱田一颯 (7)
- ★お疲れ様でした  
「お世話になりました」……………渡邊ひとみ (8)
- ★2022春の行事  
★なでしこだより  
「令和4年度が始まりました」……………田代美恵 (9)
- ★医務だより  
「医務だより第2弾」…………… (9)
- ★苦情・要望報告…………… (9)
- ★春のアルバム……………(10)
- ★地域交流……………(11)
- ★後援会の皆様へ……………(12)
- ★編集後記……………(12)

# 新年度にあたり、中期行動計画

園長

高木徳雄

新年度にあたり、地域の皆様、保護者の皆様、そして関係するすべての方々におかれましては、日頃より障害者福祉に対するご理解、及び当法人に對しまして多大なるご支援とご協力を賜りまして、心より感謝申し上げます。

さて、今年度は当法人におきまして人事異動がございました。

駿東学園の園長として長年にわたりご尽力されてきました菊池静夫園長から、私、高木が仰せつかりました。村井清先生が築き、菊池先生により育まれ、今日まで積み重ねてまいりました利用者さんの生活をより豊かなものにできるよう、普遍の基本理念をしつかりと引き継いで、微力ながら精一杯努力してまいる所存です。

今後とも変わらぬ叱咤激励をいただきますよう、切にお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は未だ私たちの生活に大きく影響を及ぼしています。新しい生活様式を求め、前向きに利用者さんの生活を維持していけるよう取り組んできましたが、これからも求められる感染対策を前提に、一人一人の生活を如何に考えていくかが大きな課題となっております。そして、昨年度は法人における中長期計画の策定について検討を行ない、様々な視点からの課題を整理しました。その結果、この先3か年における「中期行動計画2022-2024」として掲げ、本年度より始動しております。

今回はその概略について説明してまいりたいと思います。本計画については、常に私たち職員の間にある法人の基本理念や倫理綱領等を改めて再確認しつつ、そこを土台としながら、法人として目指すべき姿や方向性を見出し、いくものとしていきます。中身としては、「一・経営面」「二・支援面」「三・地域社会」「四・福祉人材の確保・育成」の4つ領域を大きな柱とした重点項目を掲げました。それぞれの内容については以下のとおりです。

一・経営面につきましては、各事業所の魅力を再開発していく中で継続的に運営していける土台を作っていくこと、そして、職員個々のコンプライアンス遵守の意識を高め、職員全体でこれからの運営に反映させていく内容としていきます。

二・支援面につきましては、個別支援における現状に合わせたニーズに対する設備投資や支援体制の見直しを図る一方、前回実施した満足度調査を再度実施、その結果から得られた課題について改善を図ると共に、アフターコロナにおける利用者さんの生活の充実を図る内容としていきます。

三・地域社会につきましては、コロナ禍において距離が生じつつある希薄化した関係性の回復を図る内容としていきます。

四・福祉人材の確保・育成につきましては、改めて基本理念の周知を図り、目指す職員像を求め、職員の研修制度の再構築、職員組織の見直し等を図る内容としていきます。

そして、今年度の事業計画ですが、この中期行動計画を軸に、感染症対策及び防災面での体制整備



新園長のまわりにみんな集合

## 棟だより

あんず男子棟

名は体を表す

金子健嗣

新年度を迎え、あんず男子棟にも職員の入替わりがありましたのでご紹介させていただきます。

今年度は3名の職員があんず男子棟に所属となりました。1人目は本岡宏一職員です。「宏」という字には豊かで大きいという意味があり、その名の通り、大きすぎる程の心と体で誰でも包んで下さるとても懐の広い方です。「一」なのでおそらく長男さんです。

続いて堀内理恵職員です。「理」、正しく筋の通った考え方を持った人という意味で、切れる頭で周りの利用者さん達のために俊敏に動いて下さり、笑いのセン



あんず男子棟

スも抜群です。お次は新人職員として入りました濱田一颯職員です。「颯」のように新しい風を巻き起こしてくださっています。

続いては不動のエース荻野竜朗職員です。「竜」という字は文字通り竜のような逞しさと、リーダーシップを持ち、勇気を持って決断できる人という意味があり、まさにぴったりな方です。ちなみに辰年生まれではない様です。続いては高橋孝太職員です。「孝」という字には親を大切に出来る人という意味があり、親を大事に出来る人は誰にでも優しく出来、利用者さん達にも「太」い意志で優しく接して下さっています。続いて、早川直職員。「直」と書いて「すなお」と読みます。真つすぐ何でも素直に仕事に取り組んで下さいます。森嶋米子職員、「米」には物事に思いを込めるという意味があり、動作や言葉に色々な想いを込めて接して下さる品がある方です。山崎藍職員、「藍」の名には繊細で細やかな配慮の出来る人という意味があり、まさにこの言葉の通りの凛々しい職員です。そして私、辰年生まれの次男、金子健嗣で頑張っていきたいと思えます。今年度もよろしくお願致します。

あんず女子棟

あんず女子棟職員紹介

寺内千尋

皆さま、如何お過ごしでしょうか。あんず女子棟6年目にして初めて職員紹介を書かせて頂いております。寺内です。早速ではありますが、職員紹介をさせていただきます。

まずは八重子職員。利用者の皆さんの事を一番に考え、みんなから「やえちゃん」と呼ばれているその姿はあんず女子棟のお母さん。まさに守護神です！

四季折々の空間を、その細やかな気付きと手先の器用さで映し取り、寮内を明るくしてくださる知美職員。知美職員の思慮深い優しさから学ぶ点がたくさんあります。

いつも綺麗でお洒落な麻美職員。直球で投げかけてくる言葉にいつも笑いの輪が広がります。今年度美しさの秘訣、教えてくださいます。

あんず女子棟の次世代エース、加藤職員。持ち前の明るさと俊敏な動きに助けられています。いつもパワフルな姿に、こちらが元気をもらっています。



あんず女子棟

あんず女子の事を誰よりも知っている竹本職員。竹本職員がいるだけで安心感に包まれる、まさにマリア様の存在です。

優しさの塊の善樹職員。今年度よりあんず女子棟へ異動になりました。これからのよろしくお願致します。

そして、あんず女子棟の唯一無二の存在・江藤職員はクララ・くるみ寮へ、切り込み隊長の堀内職員はあんず男子棟へ、それぞれ異動です。長い間本場にありがとうございました。

以上7名の職員で明るく元気に楽しく健康に！頑張っていきたいと思えます。

くるみ男子棟

くるみ男子棟職員紹介  
齋藤 太郎

新しい年度が始まり、くるみ男子棟の職員も入れ替わりがありましたので紹介致します。

まず、高杉美帆職員。利用者さんの体調や情緒の変化から身だしなみまで、細やかな気配りで誰よりも早く気付いてくれます。次に、横山高博職員。絵の上手さは天下一品！本誌「みるとす」でもお馴染みのイラストは横山職員が描いたものです。続いては、外石康太職員。今年度で2年目となりますが社会経験は大豊富です。笑顔と穏やかな物腰は、利用者さんにとっても人気があります。渡邊真希職員は先を見ての仕事を行なって下さっており、なくてはならない存在となっています。また、優しい声掛けで利用者さんもしっかり心を開いています。今年度より再びくるみ男子棟に戻ってきた、齋藤直人職員。大きな体からは想像が付き難いかもしれませんが、料理上手な面や読書家という面もあります。クララ寮と兼任となり、荒木大輔職員。持ち前の明るさだけでなく周囲への気配りも素晴らしく、みんなのムー



くるみ男子棟

ドメーカーの役割を果たしてくれています。今年度よりクララ寮の管理者に就任し、また10年ぶりにくるみ寮所属となりました、江藤信一職員。いつも頼りになる皆の大黒柱です。個人的には、以前スキーに行った時の華麗な滑りが印象に残っています！最後に私、齋藤太郎です。気付けば今年度のくるみ男子棟の職員の中では最年長となっていました。今年も健康第一で元気に頑張っていきたいと思っています。

くるみ女子棟

よろしくお願い致します

中嶋 七恵

穏やかで過ごしやすい季節になりました。今年度のくるみ女子棟職員紹介は「コロナが終わったらやりたいこと」をテーマにしてみました。それではさっそくどうぞ！

池野職員は奥さんと北海道旅行に行きたい。以前旅行し、とても良いとこだったみたいです。

みどり職員はおいしいものを食べに行きたい。全国に訪れておいしいB級グルメを堪能したいとのことでした。

土屋職員はVリーグを見に行きたい。・・・あとソフトクリームをたくさん食べたいとお言葉も残されています。

安田職員はゴルフを見に行きたい。ゴルフの腕前はどんな感じなのでしょう？笑

小林職員はジムに行つてムキムキになりたい。何になっちゃうつもりでしょうか笑

伊藤職員は韓国に行つて推し事(好きなアイドル等を応援する活動全般のこと)をしたい。誰が好きなか気になる方は伊藤職員まで！

弘美職員は飲み会をしたい。白ワインをいっぱい飲みたいとのことでした。



くるみ女子棟

新しく、くるみ女子棟に配属の優子職員は信州旅行に行きたい。やっぱり職員も利用者の方々へ負けてやりたいことがたくさんあります。私もダイビングやスノボ、カフェ巡りとやりたいことは尽きません！

今年度も制限された中での活動が多いのではないかと予想されますが、楽しく過ごせる環境を日々模索し提供していきたいと思っております。今年度もよろしくお願ひしました。

クララ寮だより

クララだより

江藤 信一



お出掛け前にハイポーズ！

今年度よりクララ寮の管理者兼サービスマン責任者になりました江藤です。長年学園で勤務してきましたが、この4月より異動となりました。前任者の高木副園長の後という事で至らぬ点が多々あると思いますが、精一杯務めていきたいと思っておりますので宜しくお願ひ致します。また今年度のクララ寮は大幅に職員の配属が変わりましたので名前だけ紹介したいと思います。

世話人さんについては、芹沢弘

美さん、舟橋嘉代さん、湯山智美さんの3名、生活支援員は、荒木大輔さん、齋藤直人さん、高橋孝太さん、菊池純也さん、山田優子さんの5名の計8名の職員で今年度は支援していきます。尚、どの職員も法人内で他事業所との兼務での配属となりますので、詳細につきましましては割愛させて頂きま

す。さて、昨年度も1年間は新型コロナウイルス感染症対策に明け暮れた一年でした。利用者さんにとっても我慢を強いられた一年であったと思えます。法人内におきましては「できないけど、できる事を見出す」をテーマに対応していき、行事や日課等においてある程度の見通しを立てることができました。しかし利用者さん個々が求める部分についてはまだまだ対応しきれない現状があります。今年度も感染症対策は継続されていくと思えますが、クララ寮で生活する、典子さん、浩一郎さん、啓子さん、一雅さんと、支援にあたる職員が協働し、クララ寮の生活が「平和・安息・家庭」の法人理念に基づきながら、安心してワクワクする居場所になるように努めていきたいと思

こでまり近況報告

こでまり近況報告

湯山 大樹

新緑の風が気持ちの良い季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年度となり暫く経ちましたが、今年もこでまりを担当いたします。湯山大樹(責任者)、舟橋嘉代職員、湯山智美職員、土屋司職員で生活を支えていく次第であります。宜しくお願い致します。

さて、前号までのあらすじですが、学園下の坂道を通る散歩道を紹介させていただいておりましたが、今回は馬伏川から駿東学園へ向かつて行こうと思

います。馬伏川水門(取水口)より田んぼの中の坂道を上がっていきま

す。改田され、コンクリートできれいに舗装された道を上がりきると、整備された水路のある十字路に出ます。ちなみに改田とは、国の補助事業として、中山間地域を対象に、農業生産を支える水路や圃場整備の基盤整備と、生産・販売施設等の農村振興環境整備を一体的に実施している事業です。人口減少や



昼食前の様子

高齢化などで難しくなっている農業を、きれいに圃場を整備することで省力化し、地域に合わせた高付加価値商品を作り出し、農家の所得確保や耕作地の放棄を食い止めるための施策となります。歩を進め、左へ曲がり、田んぼのあぜ道を進みます。平らで歩きやすく、天気の良い日には金時山、手前の竹之下の棚田から馬伏川を吹き上げる風が気持ち良いです。さらに進み、水門と橋が一体となった場所に出ます。用水路の出口、取り入れ口と学園の下を流れる川が合流する場所となり、その上を通れるよう橋の形をしている珍しい場所になります。頭首工(とうしゅこう)とも呼ばれるようですが、詳しい説明はまた次号へ続きます。

# 午後の活動

## 午後の活動紹介

金子健嗣

今年度から、新しく午後の活動が始まりましたのでご紹介させていただきます。

目標としては「四季を通じて、学園周辺に花を飾り育てる、畑づくりと収穫の喜びを得られるよう支援する、手芸活動等を行う」ことと、「参加を希望する利用者個々のニーズに併せて、一人が目的をもって活動できるように支援していく」です。今後、更に出来ることを模索し活動内容を充実させていきたいと考えております。



午後の活動 地域のゴミ拾い

それでは、利用者さんのメンバー紹介です。くるみ男子棟の淳さん。お願いしたお仕事を元氣よく丁寧に行ってくださいます。続いてくるみ女子棟の優子さん、詩子さん、恵子さんです。優子さんは分らない事をそのままにはせず、職員にしっかりと確認を取ってから確実にお仕事をやっています。詩子さんは、お仕事をお願いしますと、すごい集中力で黙々と作業をして下さいます。恵子さんはメンバー内のムードメーカーであり、楽しいお話でみなさんを元気にして下さいます。

続いてはあんず男子棟の心一さんと竜太郎さんです。心一さんはかなりの力持ちで畑作業などで大いに活躍して下さいます。竜太郎さんも持ち前の明るさで皆に声を掛け、張り切って作業して下さいます。続いてあんず女子の桃さん、いつもニコニコと笑顔を振りまいて下さり、皆の癒しとなっております。

最後にクララ寮から浩一郎さんと一雅さんです。浩一郎さんも恵子さん同様ムードメーカー的な存在であり、楽しいおしゃべりで和ませて下さいます。一雅さんも力があり、楽々と力仕事をこなし、職員が助かっています。

以上のメンバーで新しいことに挑戦していこうと考えており、現在は午後の活動では園芸班や、ひまわり班において午前中にやり切れなかった畑作業やプランターでの花の種まき等が主な活動内容となっております。それに加え、最近チャレンジしていることはリメイク缶作り、そこに多肉植物を植えてみようかと皆さんリメイク缶作りの仕事を頑張ってくださいます。



多肉植物の株分けをしています



リメイク缶作成中です



多肉植物大きくなーれ！

# 新職員紹介

よろしくお願致します

井上久美



昨年10月より医務室で勤務させて頂いております、看護師の井上久美と申します。私は一言で表すと「大きい」です。小学6年で身長164cm。その後も微増し現在172cmになっております。学園内で慣れない大きい女子を見かけたら私です、お気軽にお声をかけてください。(笑)

家族は20歳と12歳の息子、夫の4人家族です。夫は単身赴任で横須賀におり、長男も社会人で家を出ているため、ウイークデーは次男と二人暮らしをしています。

私はこれまで看護師として、病気の人の看護(病院看護師)、病気の発症予防の看護(企業内看護師)を経験してきましたが、いつも「一人に寄り添う看護」を心掛けてきました。病院勤務では、終末期の患者さんとご家族に寄り添いました。

また、企業内での勤務では、メンタル不調の従業員の辛い思いに寄り添い、カウンセリングなどを

通じて心理学的視点から援助を行ないました。

こうした経験から「ぜひ福祉の世界でも人に寄り添う看護をしたい」という想いが芽生え、障害者施設でのお仕事を探していたところ駿東学園の募集に出会い、縁あって働かせて頂くことになりました。

入職して6カ月が経ちましたが、良い意味でまだ緊張しております。でも利用者の皆さまとの関わりや皆さんの笑顔がいつも私の緊張をほぐしてくださいます。利用者の皆さまへは感謝の気持ちでいっぱい입니다。

まだ不慣れな点が多く、ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、皆様に寄り添い、皆様から信頼される看護師になれるよう努力して参りますので、よろしくお願致します。



朝のお仕事 血圧測定

よろしくお願致します

濱田一颯



初めまして、令和4年4月より駿東学園で支援員をしております、濱田一颯(いぶき)と申します。

私は幼い頃からこの学園のような環境が近くにあり、この学園の利用者さんのような方が沢山いる中で生活していました。

特に私の弟が重度の知的障がいをもっており、幼いながらに食事、入浴、トイレの介助を行ってました。

幼稚園、小学校在学中の当時の私は、朝から夜まで家事や介助に追われており、いつの間にか中学生になり、高校や進路について向き合う時間が多くなりました。

自分の好きな事や特技が見つからず、悩んでいた時(私生活の中で毎日行っている事を仕事に出来ないか?)と考えてみる事にしました。そこで思い付いた仕事は支援員でした。

幼い頃から家事や弟の介助は毎日欠かした事がなく、そして弟の様子が障がいがある方達とも多く接する機会がありました。その際に思い付いたのが、(あ!この仕事



和彦さんと

をしたい。そして弟と同じ様に障がいがある方達を笑顔にしたい」という気持ちが強くなりました。そして高校卒業後、新卒という形で、この駿東学園で支援員になる事が出来ました。他の職員の方は前方でしたり、大学等で専門的な知識を身につけて支援員になった方が殆どでした。

その方達に比べたら自分はまだ人生経験も少なく、専門的知識もありません。ですがこの学園の利用者さんが、他の同じように障がいをもつ方が私は大好きです。その大好きな方達とこれから共に同じ時間を過ごしていける事、愛せる事、本当に感謝しております。

これから利用者さんの笑顔と安全、楽しい気持ちを第一に精一杯頑張ります。未熟な私ですがこれからよろしくお願致します。

# お疲れ様でした

お世話になりました  
渡邊 ひとみ

駿東学園のクララ寮で世話人として働いて良かったと思っております。以前の職場では認知症のグループホームで働いていましたが、残業が続き体調を崩し仕事を辞める事になりました。

知り合いの方に駿東学園で世話人の募集が出ている事を教えて頂き、駄目で元々と思いきや面接を受けましたが、有難いことにその日に採用して頂き、感謝でした。

クララ寮の世話人となった最初は利用者さんの個性をよく理解し、利用者さんにも私のことを知って頂く事から始める様にと心掛けたのですが、難しかったことを思い出します。

ある時一人の利用者さんが「なぜみんなリビングにいないの？」と聞いてきたので、私は「プライベートで自分の部屋で過ごしている」と話したところ、利用者さんは「プライベートと言われた言葉にパニックになり、何も出来ず他職員に泣いて抱き着いていました。私は心臓がバクバクし冬なのに冷や汗が出てきました。それ以来話



をする際には利用者の方が分かりやすい言葉を使用する様にしました。駿東学園で5年間働いたと思っていました。自分でも驚いていました。駿東学園の元職員で現在中国に住んでいる張さんとも友人となることができ、自らが行き詰った際には村井理事長のお言葉で休暇を取り中国に遊びに行かせても頂きました。(コロナ禍以前) 村井理事長が職員を大切に思っているのだと痛感しました。今まで優しく見守ってくださり有難うございました。職員の皆様も健康に気を付けてお過ごしください。

# 春の訪れ



## 2022 春の行事

- 22・3・3 (木) ひな祭り
- 3・9 (水) コロナワクチン接種 (第1グループ)
- 3・16 (水) コロナワクチン接種 (第2グループ)
- 3・23 (水) コロナワクチン接種 (第3グループ)
- 3・27 (日) 3月誕生日会
- 4・6 (水) お花見
- 4・11 (月) 散髪
- 4・24 (日) 4月誕生日会
- 5・5 (木) 端午の節句
- 5・12 (木) ハイキング
- 5・17 (火) 春の健康診断
- 5・19 (木) 春の健康診断



# なでしこだより

令和4年度が始まりました  
田代 美恵

今年はずっと暖かくなると春を待ちわびていましたら、春を通り越してあっという間に季節が変わってしまいました。

令和4年度も序盤が過ぎてしまいました。今年度の目標を考えると、今年度もコロナと共に、コロナと上手く付き合いつつ、どのよう

# 医務だより

医務だより第2弾  
医務室

新型コロナウイルスの為にできないではなく、コロナだけ工夫してこんなことが出来た、コロナだからこんな発見をすることが出来たと、前向き思考で、物事をとらえられるようにしたいと思えます。与えられた条件の中で考え、皆さんの気持ちに寄り添える相談を行っています。今年度も悩みながら、相談して下さる皆様と一緒に進んでいきたいです。よろしくお願いたします。

新型コロナウイルス接種の3回目が行われました。

発熱の様子下記の様況でした。解熱鎮痛剤2錠とクーリングでの対応を行いました。

1回の服薬で解熱した方もいましたが、37.5℃以上の熱が続き、3〜4回解熱鎮痛薬を服用して熱が下がった方が多かったです。

しかし、接種後3日目には熱も下がり、皆さん元気にいつも通りの日常生活を送ることが出来まし

職員は、高熱の症状が出た人や熱は出ないが体調不良が見られた方がいらつしやいました。それでも、数日後には回復されています。現在も新型コロナウイルス感染症が続く中、今後も油断することなく学園内にウイルスを持ち込むことがないよう、職員一同協力して感染症対策に取り組んでいきます。

実施日	利用者	職員
3月9日	23名 (内14名発熱)	12名
3月16日	4名 (内4名発熱)	15名
3月23日	26名 (内19名発熱)	7名



# 苦情・要望

令和2年度実績報告(令和2年4月1日〜令和3年3月31日)の苦情(要望)の件数は左表のとおりです。尚、詳細については個人情報保護法に基づきこの場での報告は省略させていただきます。

	駿東学園	クララ寮	こでまり	短期入所	日中一時	なでしこ	合計
苦情	2	0	0	0	0	0	2
要望	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	0	0	0	0	0	2



ハイキング出発前の様子(5.12)



お花見弁当美味しかった!



はーい、笑って~!!



花より団子!!

春のアルバム②



ハイキング 手作り自販機  
私はあれがいいな



4月誕生日会(あんず)



ハイキング お昼のメニューは  
選べるパスタでした。



4月誕生日会(くるみ)



3月誕生日会(あんず)



ヤクルト様より  
御寄付頂きました(4.7)



3月誕生日会(くるみ)



あんずひな祭り (3.3)

春のアルバム①



満開の桜の下で



くるみひな祭り (3.3)



ベンチでお花見を  
楽しんでいます



コロナワクチン  
3回目接種の様子

# 地域交流

明倫地域まちづくり推進協議会が令和3年度静岡県コミュニティづくり推進協議会主催の審査会で最高賞の「コミュニティ活動賞優秀賞」を受賞し、令和4年2月12日(土)に開催された「コミュニティ・フォーラム2022」で表彰されました。

「明倫地区まちづくり推進協議会」とは平成26年に明倫地域金太郎計画推進協議会として発足。

令和2年に「明倫地域まちづくり推進協議会」と名称を変更し、地域の特性や資源を活かし多世代が交流する活動を行なっています。



地域の方達と芋掘り(R3.11.18)



駿東学園も平成29年よりこの活動に参加させて頂き、利用者の皆さんも秋には芋掘りを地域のみならずと共に体験しました。

学園に帰ってきてからその様子をとても嬉しそうにお話して下さいたり、掘ったお芋を厨房職員に調理して頂き芋掘りに参加する事が困難な利用者さんも美味しくいただきます、良い笑顔を見せてくれます。

また、コロナ禍以前ではホテル観賞の時など、学園敷地を駐車場として利用して頂いていました。



# 後援会の皆様へ

当法人では、社会福祉制度改革を受けて平成29年度には、理事会並びに評議員会における経営組織の見直しを行いました。新年度を迎えるにあたり、法人各事業所施設長の新たな人事を3月の理事会において左記のとおり決定しました。ご報告いたします。

- \*駿東学園 園長 高木徳雄
- \*クララ寮 管理者 江藤信一
- \*駿東学園地域活動支援センター こでまり 施設長 菊池静夫
- \*駿東学園相談サポートセンター なでしこ 所長 菊池静夫

また、小山町には、利用者からの予約に応じて走るデマンドバスというコミュニティバスがあります。この4月より、駿東学園がバス停の一つになりました。ご来園の際には、ご活用ください。



# 弔報

利美さんのお父様(享年84歳)が、去る3月5日ご逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

世津子さん(享年64歳)が、去る5月6日ご逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。追悼号は次号にて発行します。

# 編集後記

昨今、暗いニュースが多く聞かれます、止まない雨は無いので、気持ちだけでも前向きに行きたいと思っています。次号もお楽しみに！  
(記 堀内)

※送り先

- ◎静岡県駿東郡小山町吉久保1050 駿東学園後援会
- ◎銀行振込(スルガ銀行小山支店) 普通預金 707936 駿東学園後援会
- ◎郵便振替口座 00880(8)70097